

新潟市立有明台小学校



◇学校データ
【学級数】
12学級
【児童生徒数】
235人
【地域教育コーディネーターの有無】
有(2名)

学校と地域と協働で行う合同防災訓練

～「自分の命は自分で守る，みんなで命を守り合う」子どもを目指して～

1 はじめに

地域と学校の連携・協働の基盤ができている有明台小学校。保護者，地域住民は日頃から子どもたちを温かく見守り，学校に協力的である。当校では，このような地域性を生かし，地域教育プログラムを基にした「地域と共にある有明台小学校」づくりを教職員の共通目標として教育活動に取り組んでいる。

校区の自主防災会の組織もしっかりしており，「自助」「共助」を合言葉に地域全体の自主防災体制が整っている。地域と協働した合同防災訓練を通し，自助【自分の命は自分で守る】，共助【学校・地域みんなでお互いの命を守り合う】を大切にしたい防災教育を推進している。

2 取組の実際

(1) 学校と地域の合同防災訓練

地震，津波等の災害時に安全な避難行動ができるように，毎年，学校と地域で合同防災訓練を実施している。大規模な災害時には，地域との連携が不可欠である。地域と学校とで危機意識を共有した訓練を合同で行うことにより，災害時でも連携した対応ができると考えている。

(2) 今年度の訓練内容

①地震・津波を想定した避難訓練

昨年度までは，「授業中に地震発生，津波の恐れがある」という想定だった

が，今年度は実生活をイメージし，「家にいる時，大地震発生。自宅から指定津波避難ビルへ避難。その後，家族や地域の人と一緒に学校へ移動する」という高いレベルの想定で行った。

学校での避難訓練は，教師の指示を聞き，友達の様子も見ながら行動できるが，今回は自治会ごとの集合のため，自主防災会の方々の指示で行動しなければならない。戸惑うこと，緊張することもあっただろうが，子どもたちは教えられなくとも高学年は低学年の手をつなぎ，お年寄りをいたわりながら避難していた。その場の状況に合わせて，一人一人が自ら考え，判断し，行動する大切さを学んだ。



【無事，体育館に全員避難】

②防災体験学習

自治会ごとに，児童・保護者・地域合同で，防災体験（起震車体験，濃煙

テント体験，簡易担架づくり体験，水消火器の消火訓練）を行った。消防署や消防団，自主防災会の役員の方から指導や支援を受けながら，自分でできること，周りの人のためにできることは何かを考えながら，真剣に取り組んでいた。



【濃煙体験】



【消火訓練】

③防災学習「お笑い防災訓練」

新潟お笑い集団 NAMARA のジャックポットさんをお招きし，地域の方々と一緒に防災について楽しく学んだ。地震が起きた時の行動や心構え，避難時のルール，防災知識や準備の大切さなど，参加型ゲームを通し分かりやすく教えていただいた。緊急時だからこそコミュニケーションを取り合う必要性を強く意識することができた。

④炊き出し訓練・非常食体験

自主防災会の皆さんによる炊き出し訓練の後，参加者全員で試食した。



【アルファ化米の説明】

3 成果と課題及び本実践で育成された資質・能力

- 合同防災訓練は，子どもたちに大人から常に見守られているという安心感を与えるとともに，危機回避の知識や災害時の行動の仕方を学ぶよい体験になった。
- 合同防災訓練の3日後，「新潟・山形地震」が発生。想定した訓練が現実となった。当夜，学校職員が駆けつ

けると，すでに地域で自主的に避難所を開設し，屋上に地域住民200名以上が避難していた。避難してきた子どもたちは，学校施設（トイレ等）の案内をかってでたり，ゴザを広げる手伝いをしたり，自分のできることはないかを考えて行動していた。学んだことが活かされた機会だった。地域の方々からも「防災訓練をしているから，落ち着いて避難できてよかった」という声が寄せられた。

- 全国学力・学習状況調査「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」という項目は，全国比+20ポイント近い高水準である（有明台小74.2，全国54.5）。「学びが地域みんなの役に立っている」という自信が好循環につながっている。
- 学校の役に立てること，つながれることに喜びを感じる地域の方が増えている。学校の元気が地域へ届き，また学校へ戻ってくる。地域全体に「学校発→地域経由→学校着・発」の活力が生まれている。

4 おわりに

今年度，創立65周年を迎えた有明台小学校。地域に支えられ，地域と共に歴史を刻んできたことを，子どもたちや職員と共に日々感じている。

「自分にはよいところがあり，周りの人もよいところを認めてくれる」と全校の子どもたちが答えている。学校や地域の様々な場面で認められている経験が，達成感や満足感，自己有用感につながっていると考える。

今後も地域教育プログラムを基に，地域の力を学校教育に生かすことで，地域に愛着と誇りをもつ子どもを育てていきたい。